

# Weekly Report

(2015年6月第4週)

光世証券株式会社

## 株式市場概況

### ● 先週(6/15 - 6/19)の動き

ギリシャを巡る混乱と米国のFOMCを前に、日経平均株価は弱含んだ。FOMCでは利上げのペースはゆっくりとしたものとなることが示唆され、若干円高ドル安に動いた。18日は円高が嫌気され、日経平均株価は一段と下落し、引値は2万円を割り込んだ。しかし同日の米国株は上昇したことから、19日の日経平均は小幅に反発した。

週末の引け値は前週末比-2%の20,152円となった。



セクター別では、訪日外国人数が前年比で伸びていることから、小売や食料品など内需関連が上昇率上位となった。下落率上位は鉱業、鉄鋼、石油石炭と素材関連となった。ギリシャの混乱が景気鈍化につながり、消費が減速することを嫌気して売られた。

スタイルインデックスは前週に引き続き、マザーズ指数、東証2部指数が上昇率上位トップ1、2となった。小型株の堅調、大型株軟調の展開が継続している。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向  
セクター動向(先週末比)

小売業	1.31%	鉱業	-6.07%
食料品	1.20%	鉄鋼	-4.07%
その他金融	0.17%	石油石炭	-3.90%
繊維製品	0.07%	パルプ紙	-3.56%
水産農林	-0.03%	銀行業	-3.37%
精密機器	-0.16%	機械	-2.73%

各種国内株式指数動向(先週末比)

マザーズ	3.44%	日経平均株価	-2.00%
東証2部	2.20%	TOPIX	-2.58%
TOPIXスモール	0.43%	TOPIXL70	-2.60%
ミッド400	-1.67%	TOPIXバリュー	-3.34%
TOPIXグロース	-1.79%	コア30	-4.10%
REIT指数	-1.88%		

## 今後の注目材料

ギリシャの債務問題が混迷を極めていく。22日には緊急のユーロ圏首脳協議が行われるようだ。ギリシャ問題が市場に与える影響であるが、ギリシャのユーロ圏離脱が決まれば、悪影響から経済を守るため、一段の金融緩和が行われる可能性が高まるため、株価は上昇し易い環境となる。一方で、

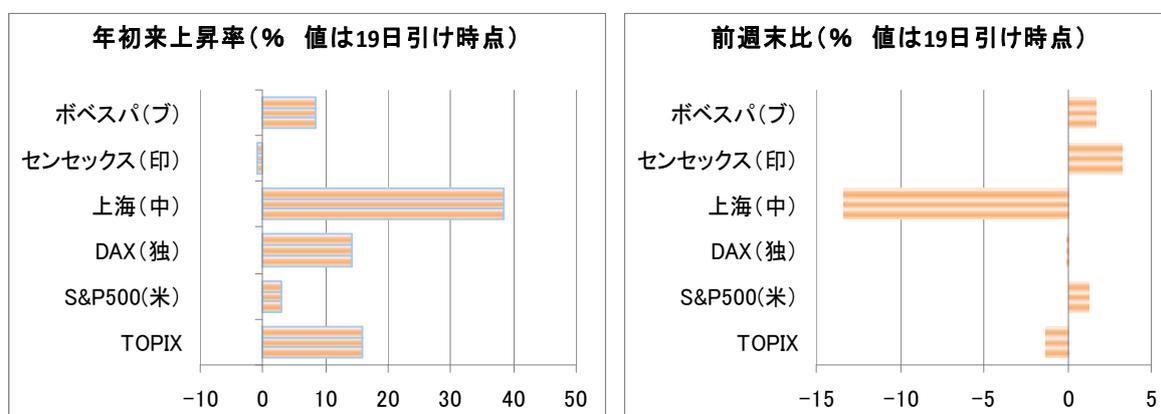
中途半端な解決や時間延ばしの方策は、金融緩和も出来ず、景気が少しずつ悪化することとなるため、株式にとってはネガティブだろう。

日経平均株価に関しては2万円近辺で押し目買いが入る展開が継続している。ここ最近売りが強いのはドル円が円安に動き難くなったことと、内閣不支持率の上昇が要因だろう。

TPA(通商一括交渉権を与える法案)だが、下院では一体法案としてセットになっている TAA(失業者支援法案)が否決された。その後、TPA と TAA は一体ではなく単独法案となり、18 日に TPA 法案が下院で可決された。しかし単独法案となったため、再び上院で可決される必要があるため、TPP が妥結に向かうのかは一層不透明となった。

## 資料

### 各国の株価動向



### 株式市場需給動向(6月8日~6月12日分)

投資部門別売買動向では買いが個人と事業法人、売りが海外投資家となった。裁定買い残高は8,000 億円強と大幅に減少した。裁定買い残高は2週連続で増加した。

	現物(億円)	先物(億円)	差引(億円)
自己	-2438.19	3404.24	966.05
委託	2372.36	-3594.12	-1221.76
自己・委託合計	-65.83	-189.88	-255.71
法人	1975.72	-501.91	1473.82
個人	1989.37	-158.22	1831.15
海外投資家	-1726.57	-2918.67	-4645.24
証券会社	133.84	-15.32	118.52
投資信託	-259.82	574.89	315.07
事業法人	1198.88	42.68	1241.57
その他法人	65.73	3.99	69.73
金融	970.93	-1123.47	-152.54
生保・損保	-2.28	39.87	37.60
都銀・地銀	43.23	-136.17	-92.94
信託銀行	775.67	-1036.47	-260.80
その他金融機関	154.31	9.29	163.60

(値はブルームバーグによる)

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会／日本証券業協会